

第一回全国盲大学生大会開催要綱

一 開催の趣旨 〓 由来わが國盲人の職業分野は非常に狭く、殊に正常人に劣らない知能を持ちながら文化的な活動に従事することは殆んど不可能に近かったが先に學制改革により盲人に對しても大學の門戸が開放されたので一応この問題は解決されたかの如くである。しかるに彼等は点字によつて勉學する以外に研學の方法がないのに拘らず今尚点字による答案が拒否されている等の重大なハンディキャップを負わされているのであつて、しかも彼等はあらゆる苦難を克服して一路目的に邁進しつゝある姿を見れば彼等に研學方法等に関する相互研究の機会を提供することは独り盲人文化の向上に

No. 1

資するばかりでなく、わが國の文化の發達の上にも貢献することとなることを信じて疑わぬ。本大會を開催する主な目的はこゝにある。

No. 2

二 主催 〓 日本ヘレン・ケラー協會

三 後援 〓 文部省・厚生省・労働省・点字

毎日・毎日新聞社會事業團

四 會期 〓 昭和二十六年八月三十一日(金)―九月二日(日)

― 原則として合宿

五 會場 〓 東京都新宿区西大久保四のー七〇

東日本ヘレン・ケラー財團本部

天野 317

六. 参加者 〓 点字によって研學する高等學校以上の學校もしくはこれに準ずる學校に在籍する者(聴講生・特設教員養成所普通科生徒を含み、通信學生を除く)ならぬにその卒業生、但し在學者を正メンバー、卒業生をオヴザバーとするがオヴザバーも発言を認める

七. 参加に要する費用

① 東京及びその近郊に所在する學校に在籍する者以外の正メンバーに対し、居住地より會場までの往復交通費を支給する  
但し必ず身体障害者福祉法あるいは學生割引制度のいづれかのうち低額の方の適用を受けること  
△ 往路は個人が立替へ到着後その実費を

事務局へ報告し散會に際しその二倍を事務局から受領すること(印鑑を要する)  
△ 身体障害者福祉法の適用を受けない付添人の旅費は認めない △ なるべく團体的に行動することにより付添人の数を減ずること △ 参加者の居住地の公共団体から旅費を支給された場合は事務局は旅費を支給しない

② 右の規定は卒業生には適用されない

③ 開催中は會場施設内に宿泊、食費等一切主催者側に於て負擔する(付添人、卒業生を含む)

④ 到着前と散會後の食費は各自の負擔とする

No. 5

八 議 案 と 日 程

(ホ) 参加者(付添入・卒業者を含む)は一入主食  
七合(七食分)を携行し到着と同時に事務  
局へ提出すること(但し東京在住者で止む  
を得ない事情により合宿出来ない者に対し  
ては食事しない量に依りて返還する)

◇ 第一日(八月三十一日)金曜日

午前十時 開會式 (司會 松井協會事務局長)

開會のあいさつ 協會長 高橋龍太郎

あいさつ 文部大臣 天野貞祐

あいさつ 厚生大臣 橋本龍伍

(但し西大臣のあいさつは第二日となるこ  
ともある)

No. 6

議長・副議長推薦

議長候補 協會幹事長 岩橋武夫

副議長候補 東白本(レンケラー) 財田常務理事 鈴木三郎

議案配布

議事及び日程説明

(本會議を開く)

講演 「欧米の障害者更生事業を視察して」

厚生省更生課長 松本征二氏

(晝 食)

午後一時―夜間

参加者自由討議

自己の体験を語る(一人四分)

No 7

◇ 第二日 (九月一日 — 土曜日)

午前九時 本會議開會

(議案第一号) 大學進學問題

回答者 文部当局、大學設置審議會

当局、衆・参文部委員

一 入學資格の問題 (失明前の學歷の問題)

二 受験方法の問題 (盲人に對する進學適性検査)

實施方法の問題)

三 受入体制の問題 (英字答案か、ローマ字)

タイプ回答か、口答か)

(議案第二号) 修學の問題

回答者 前回の外教育大學当局等

No 8

一 單位取得に関する問題

二 試験答案に関する問題

三 研究室の問題

四 その他の問題

(議案第三号) 育英資金の問題

回答者 文部当局、厚生当局、

衆・参文教委員、同厚生委員、

中央福祉審議會当局、育英会当局

(議案第四号) 英字専門圖書の問題

回答者 金森國會圖書館長、

本間日本英字圖書館長、

日赤代表、CIE代表等

(休憩 晝食)

午後一時 再開

(議案第五号) 卒業後の問題

回答者 文部、厚生、労働当局

一、就職の問題(社会福祉司、盲学校教員)

二、弁護士等資格の問題

三、職業斡旋所の問題

(議案第六号) 留學の問題

回答者 文部当局、CIE等

(議案第七号) 學生生活の問題

回答者 文部、厚生当局

一、學生寮の問題

二、ハイキング、キャンピング、ダンス、体育競技

文化的集會等に関する問題

(議案第八号) ヘルパーの問題

回答者 盲人學生奉仕團代表

日赤奉仕團代表

學習院女子短大代表等

一、英譯奉仕

二、リーダーディング、サービス

三、代筆奉仕

午後五時 閉會、夕食

夜 参加者自由討議

「一般盲界諸問題について」

